

1. 研究テーマ 体験を生かした、心に響く道徳教育のあり方
2. 主題名 「さやえんどうのなみだ」 出典「わたしたちの道」 内容項目 4 - (3) 敬愛
3. 授業学級および実施日 3年敬組(男子 10名 女子 16名 計 26名)
平成 18 年 11 月 15 日(水) 1:50~2:35
4. 目標(主眼) お年寄りの方の温かさや親切を素直に受け止められないでいる子ども達が、おじいちゃんに煮物を食べさせてあげたくて、畑めがけてとんでいったぼくの気持ちを考え話し合うことを通して、身近にいるお年寄りに対して温かい心で接し、親切にすることの良さを感得する。
5. 展開の概要・授業記録

| 段階 | 児童の反応 | 教師の支援・指導 | 時間 |
|--------|---|---|-----|
| 導 入 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑色の豆が入った野菜 ・ さやえんどうが泣いたの？ | さやえんどうって何だか知っていますか。 今日、さやえんどうが出てくるお話をするよ。(題名のカードを貼る) | 3 |
| 展 開 | C1: トイレに行けなかったら一緒についてあげてあげる。 ・ おまんじゅうを食べているところが一人で寂しそうだった。 C2: 僕だったら何か作れるからもってきてあげたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: fit-content;">畑めがけてとんでいったぼくの気持ちについて考えよう。</div> C2: おじいちゃんが喜んでくれたからもっと作ってあげたいと思った。 C3: おじいちゃんになまりぶしを食べさせたいな。おじいちゃんのを思い出したいな。 C4: まだあったから、とってきておじいちゃんになまりぶしを食べさせてあげよう。足が不自由だからぼくが代わりに行ってあげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の絵に主な行為や言葉など順を追って貼りながら、あらすじを確認する。よろよろしてぼくが誰だか思い出せないおじいちゃんだったらどうかな。 ・ あまり出ない時は、高齢者疑似体験での感想などを話す。 「ぼく」はどうして、急におじいちゃんがかわいそうになったんだろう。 ・ おじいちゃんがやせた背中を向けておまんじゅうを食べている絵を貼る。 ・ なまりぶしがどんなものか見せる。 ・ コトコトとなまりぶしを煮てくれたおじいちゃんを思い出すぼく。 ・ ぼくの煮たなまりぶしを食べて、涙をぼろぼろとこぼすおじいちゃん。 | 3 7 |
| 終 末 | <ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄りが困っていたら「大丈夫ですか」って声をかけたい。 C5: おじいちゃんが今熱出てて具合悪いからお手紙を書いてあげたい。 | 今日、今日の道徳の授業でよかったなってことを書いてください。 | 5 |



*畑めがけてとんでいったぼくの気持ちについて、自分なりに考え、学習カードに書くことができたか。

6. 考察

(1) 成果

すこやかさんとの交流や高齢者体験をしたことで、認知症や高齢者の苦勞が理解しやすかった。資料自体の持つ魅力が大きく、教師の語りもおだやかで聞き取りやすく、児童が引き込まれていた。再現構成法的な手法を用い、要所の挿絵が状況を具体的に表していた。

(2) 課題

終末の児童による授業評価は始めたばかりなので、今後さらに継続して検討を重ねたい。